

令和3年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 小見 光子

○ 令和3年度重要事業

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業の推進
目標	市民の皆様が安全かつ迅速にワクチン接種ができるよう、関係機関と連携し体制確保に努め、計画的なワクチン接種を実施します。
年度末達成状況	医療機関での個別接種とミライクル館での集団接種での接種体制を確保し、1・2回目接種は約9割の方が接種を完了しました。高齢者から順次接種を進めるなか、エッセンシャルワーカー、受験生、ひとり親の方への先行接種及び妊婦への優先接種を実施しました。また、3回目接種は接種時期を前倒して推進するとともに、小児接種を3月7日から開始しました。
自己評価	令和4年度も引き続き、3回目接種及び小児接種を安全に迅速に実施できるよう関係機関と連携するなど、ワクチン接種の推進に努めます。

事業名	子育て支援の推進
目標	市内の保育園等において、園児の登降園の管理や保育計画作成のシステム化を図るなど、保育業務のICT化を積極的に推進し、保育士が働きやすい環境の整備を図るほか、孤立しやすく、産前・産後で育児等の負担が多い多胎妊産婦に対し、多胎育児経験者家族との交流会や専門職等による相談会を実施するなど、支援体制の充実に努めます。
年度末達成状況	保育業務のICT化については、公立保育園5園のICT化を実施し、保育士が働きやすい環境の整備に取り組みました。 多胎妊産婦支援では、多胎ピアサポート事業を開始し、仲間づくりを促す交流会及び専門職による相談会の実施や、産後家事サポート事業の拡充等支援体制の充実に取り組みました。
自己評価	令和4年度は残りの8園のICT化に取り組み、保育士等の業務の負担軽減を図り、あわせて保育の質の向上に努めます。 妊産婦支援では、引き続き産後うつ予防及び育児支援体制の充実に努めます。

事業名	健康寿命の延伸と認知症対策の推進
目標	慢性疾患とフレイルが混在する高齢者特有の健康課題に対応するため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組むほか、市内の店舗や事業所を「認知症の人にやさしいお店」として登録する取組を行い、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい生活ができるまちを目指します。
年度末達成状況	慢性疾患の重症化予防のため、対象者に個別訪問を行うとともに、市内7地区においてフレイル予防教室を開催しました。 また、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の人にやさしいまちづくりに賛同いただいた市内事業所を「認知症の人にやさしいお店」として101か所登録し、市報やホームページ、ケーブルテレビ放送にて紹介しました。
自己評価	今後も高齢者がいきいきと元気に生活できるよう、保健事業と介護予防の一体的実施の展開など様々な支援に取り組みます。 また、認知症の人が地域で自分らしく暮らせる地域づくりを推進します。

事業名	相談支援体制の充実
目標	ひきこもりや8050問題など複雑化・多様化した社会的課題に対応するため、アウトリーチによる支援を強化するほか、相談者の属性や年代に関わらず、相談を受け止める体制の構築に取り組めます。
年度末達成状況	生活困窮者自立支援相談窓口である市社会福祉協議会に、令和3年9月からアウトリーチ支援員を配置し、相談者の希望に沿った丁寧な相談支援に努めました。
自己評価	早期の相談や切れ目のない支援体制を構築するため、関係部署や関係機関との情報共有や連携強化及び理解者・支援者となる人材を育成するサポーター養成研修等の実施を継続するとともに、今後も、相談支援体制の充実に取り組めます。